令和８年度 GH 大和川　地域連携推進会議　会議録

日　時	令和 8 年 10 月 27 日（火）14:00～15:00
場　所	グループホーム大和川
出席者	入居者：1 名 地区組長：1 名 民生委員：1 名 福祉事務所　福祉サービス係：1 名 メモリアルホームみずほ：2 名

会議内容

※ 別紙　令和 8 年度　グループホーム大和川　地域連携推進会議　資料参照

1　開会の挨拶

今回の会議の目的と会議内容をメモリアルホームみずほ職員より説明。

2　自己紹介

3　検討内容

① GH　大和川の現況報告

【質疑応答】

・世話人の勤務形態が朝・夕方の時間に分かれているが、1 日を通して同じ世話人が勤務するのか、朝・夕方で勤務する世話人が違うのか？

→基本的には 1 日を通して同じ世話人が勤務しており、その方がその 1 日の利用者の様子を把握しやすいという理由もある。ただ、世話人やその他の都合もある為、朝だけの勤務、夕方だけの勤務という事も可能。

・世話人が業務を終えてグループホーム内が利用者のみになった後、ガスや火器の管理はどうなっているか？

→ガスを使用している台所は、夜間帯は施錠をしてある。また、利用者の居室に灯油を使用する暖房は無く、暖房はエアコン等の電気機器で賄っている。

② 入居者の権利擁護に関すること

・特に質問などは無いが、近所周辺からの噂、報告は聞かれていない。

③ 緊急時に関すること

【質疑応答　ご意見】

・普段から防災訓練しているか？

→ここ数年は出来ていない。グループホーム大和川がある区域では市の合同防災訓練日に実施訓練を行っていないが、防災アンケートについて回答する事はあった。

その後大和川地区の防災訓練についての話になり、大和川地区は範囲が広く幾つかの区域に分かれており、区域ごとに訓練を実施する、アンケートを各家庭に配布する等、各々の形で防災訓練についての取り組みが行われている。実際に避難する際には集団よりも個別で行った方が現実的な区域もあると思われ、自身で考える事を求められる部分もある。防災のアンケートには自身で考えるという意味も含まれている。

・災害対応避難マニュアルの資料に津波の際は糸魚川総合病院やアオキに避難すると記載があるが、実際に津波が来た際はそこへ避難するまでの時間で津波が到達してしまう可能性もある。避難が間に合わない、高齢の入居者もいる中で急いで移動する状況はむしろ転倒等のリスクもある等の事を考えると、垂直避難やより近い場所に避難する等の検討も必要なのではないか？
→確かにグループホームの 2 階に避難する等の方が現実的なのかもしれない。災害対応避難マニュアルについては、今後も見直しや検討を行っていく。

④ 地域との連携・理解の促進
【質疑応答　ご意見】
・グループホームの近くで夏祭りが行われていた事もある。その際に入居者も顔を出してもらえたら、地域住民のとの交流の機会にもなると思う。回覧でイベントの情報も流れてくると思うので、もし良ければ活用、参加してほしい。
→機会があれば積極的に参加していきたい。

⑤ 質疑応答　意見交換
【意見交換】
・外出や外泊の機会はあるのか？
→休日に一人で外出する入居者もいる。また、家族と都合を合わせて外出、外泊を行う事もある。

⑥閉会。その後グループホーム内の見学。